

## インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数1,551件(前月比0.5、前年比0.6)であり、本年の1月をピークとし、以後は連続して減少しています。前年比は0.6であり、昨シーズンよりも少ない値で推移しています。例年の季節性インフルエンザ発生状況と同様に、今後は終息していくと推測されます。菊池(60.6)が特に高くなっています。

※( )書きは1ヶ月の報告数を定点数で割った値。以下同じ。

## 小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向)

4,651件(前月比0.6、前年比0.8)であり、感染性胃腸炎1,709件とインフルエンザ1,551件が大きく占めています。前月比、前年比ともやや減少しています。前月比の減少は、インフルエンザ1,551件(前月比0.5、前年比0.6)、感染性胃腸炎1,709件(前月比0.6、前年比0.8)の影響を受けてのものです。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 24件(前月比0.3、前年比1.2)と昨年の9月をピークとして連続して減少しています。今後は例年通りに終息していくと推測されます。
2. 咽頭結膜熱: 67件(前月比0.9、前年比0.8)でした。1月からは連続して減少しています。例年並みに推移しているようです。
3. A群溶連菌咽頭炎: 340件(前月比0.9、前年比1.2)でした。例年よりはやや高い値で推移しているようです。菊池(23.2)が特に高くなっています。
4. 感染性胃腸炎: 1,709件(前月比0.6、前年比0.8)でした。昨年の11月をピークとし、以後は減少に転じています。前年比は0.8であり、例年よりは低い値で推移しているようです。有明(67.6)、菊池(60.6)、山鹿(60.0)、八代(54.0)が特に多いようです。
5. 水痘: 392件(前月比0.9、前年比1.4)でした。前月比0.9であり、大きな変化はありません。菊池(14.6)、水俣(13.0)、宇城(12.0)が多いようです。
6. 手足口病: 116件(前月比2.9、前年比8.9)でした。前月比、前年比ともに増加しており、今後の動向に注意が必要です。
7. 伝染性紅斑: 9件(前月比1.5、前年比0.4)であり、例年より低い値で推移しています。
8. 突発性発疹症: 184件(前月比1.2、前年比1.2)。例年と同様に推移しているようです。
9. 百日咳: 1件(前月比—、前年比1.0)と少ない値で推移しています。
10. ヘルパンギーナ: 33件(前月比3.7、前年比0.5)と前月比は増加していますが、昨年よりは少ないようです。例年通り、これから夏期にかけて増加していくと推測されます。
11. 流行性耳下腺炎: 20件(前月比0.7、前年比0.1)であり、例年より著明に低い値で推移しています。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数48件(前月比0. 8、前年比1. 2)と前年よりも減少しています。地区別では熊本42件、菊池1件、有明5件の報告です。 年齢別では20～59歳で67%を占めていますが60歳以上の発症も続いています。

## STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

本年1月より、定点が増加したため、前年とは比較できませんが、著明に増加している疾患と減少している疾患がありました。

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 65件(前月比 1. 5、前年比 3. 4)で、前月比、前年同月比ともに大幅に増加しています。男女別は、女性が46件と多く見られています。年齢別は、女性は20～24歳に16件と多く、男性では15～54歳に多く見られています。地区別は、熊本40件と圧倒的に多く、次いで有明10件、八代8件、菊池、御船に各3件、宇城1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:  
報告数 17件(前月比 0. 8、前年比 1. 1)でした。前月比では減少していますが、前年同月比では増加しています。男女別は、女性が11件と多く、年齢別では、女性では20～70歳以上と幅広く、男性では15～44歳に見られています。地域別は、熊本が10件と圧倒的に多く、次いで八代3件、菊池、有明に各2件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数は4件(前月比 0. 7、前年比0. 8)でした。前月比、前年同月比とも減少しています。男女別は、全員男性でした。年齢別は、25～44歳と若～中年に見られています。地域別は、熊本2件、有明、宇城に各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数18件(前月比 0. 8、前年比 2. 0)で、前月比では減少していましたが、前年同月比では増加しています。男女別は、男性に15件と多く見られています。年齢別は、男性は15～64歳に、女性は20～24歳に2件、55～59歳に1件見られています。地域別は、熊本9件、八代4件、有明3件、人吉、宇城に各1件でした。熊本9件、八代4件、有明3件、人吉、宇城に各1件でした。

## 基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 報告数2件(前月比一、前年同月比1. 0)でした。
2. 無菌性髄膜炎: 報告数2件(前月比1. 0、前年同月比0. 7)でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 報告数15件(前月比2. 5、前年同月比1. 3)でした。3か月ぶりに10件を超えました天草(10. 0)、有明(4. 0)が多くなっています。今後増加に転じると予測され、昨年同様の流行が危惧されます。
4. クラミジア肺炎: 報告数1件(前月比一、前年同月比一)でした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症: 報告数26件(前月比 1.7前年同月比 0.3でした。6か月ぶりに20件を超えました。20件(77%)が70歳以上でした。山鹿(8.0)、有明(4.0)が多いようです。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 報告数7件(前月比2.3、前年同月比0.8)でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告数0件(前月比ー、前年同月比ー)でした。
4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症: 報告数0件(前月比ー、前年同月比ー)でした。

## 届け出対象感染症

- |        |                          |
|--------|--------------------------|
| 1類感染症: | 報告はありませんでした。             |
| 2類感染症: | 結核:31件                   |
| 3類感染症: | 腸チフス:1件                  |
| 4類感染症: | E型肝炎:1件                  |
| 5類感染症: | 侵襲性肺炎球菌感染症:1件<br>風しん:21件 |